

【もっと知ってほしいAYA世代のがんとセクシュアリティのこと】

アンケート結果の報告

表題のセミナーに関するアンケート結果をご報告申し上げます。頂きましたコメントは、判読が難しいもの、表記が適切でないものも含め、原則全て記載しています。

63名の方からご意見を頂きました。

(1) 性別を教えてください。

①男性	20.63%
②女性	79.37%
③その他・非公開など	0.00%

(2) 年代を教えてください。

①14歳以下	0.00%
②15歳～19歳	0.00%
③20代	3.17%
④30代	30.16%
⑤40代	28.57%
⑥50代	30.16%
⑧60歳以上	7.94%

(3) お住まいの都道府県を教えてください。

都道府県名	人数	割合
北海道	2名	3.17%
青森県	1名	1.59%
福島県	1名	1.59%
茨城県	1名	1.59%
栃木県	1名	1.59%
群馬県	1名	1.59%
埼玉県	3名	4.76%
千葉県	3名	4.76%
東京都	17名	26.98%

神奈川県	9名	14.29%
新潟県	1名	1.59%
石川県	1名	1.59%
長野県	1名	1.59%
静岡県	6名	9.52%
京都府	2名	3.17%
大阪府	4名	6.35%
福岡県	2名	3.17%
長崎県	1名	1.59%
宮崎県	1名	1.59%
海外	1名	1.59%
無回答	4名	6.35%

(4)あなたのお立場を教えてください。(複数回答可)

①患者 治療開始前	1.59%
②患者 治療中	14.29%
③患者 治療後フォロー中5年以内	7.94%
④患者 治療後5年以上経過	19.05%
⑤患者のパートナー	3.17%
⑥患者の家族	6.35%
⑦医療従事者	49.21%
⑧ヘルスケア関連企業の社員	3.17%
⑨メディア	3.17%
⑩その他	11.11%

その他詳細

病院事務/調査会社勤務の雑誌編集者/以前 AYA がんの医療と支援のあり方研究会準会員
でした。/難病患者/保険会社/居宅ケアマネージャー/社会保険労務

(5) 視聴したご感想を教えてください

～講演①：がんになって改めて考える性のこと(渡邊 知映さん)～

①満足	75.86%
②やや満足	15.52%
③どちらともいえない	3.45%
④やや不満	0.00%

⑤不満	0.00%
⑥視聴しなかった	5.17%

～体験談：ふたつのがんを経て、年齢を重ねるにつれて(佐藤 崇宏さん)～

①満足	70.69%
②やや満足	24.14%
③どちらともいえない	1.72%
④やや不満	0.00%
⑤不満	0.00%
⑥視聴しなかった	3.45%

～講演②：がん治療と妊孕性・性機能(湯村 寧さん)～

①満足	79.31%
②やや満足	18.97%
③どちらともいえない	0.00%
④やや不満	0.00%
⑤不満	0.00%
⑥視聴しなかった	1.72%

～Q&A セッション～

①満足	62.07%
②やや満足	29.31%
③どちらともいえない	0.00%
④やや不満	1.72%
⑤不満	0.00%
⑥視聴しなかった	6.90%

(6) 視聴してのご感想を是非お聞かせください。

- ・患者の立場からの講演で、同じ人でも年齢を重ねるごとに気持ちが変わっていくことを生の声で聞け、その時々的心情に寄り添うことが必要だと思いました。
- ・医療者も当事者もこんなに臆せず話ができる、とても良い時間でした
- ・参加してよかったと心から思いました。なかなか聞けないお話、踏み込んだお話を聞いて、私自身ハッとしたことや気づいたこと、学ぶことが多かったです。時間が足りないなあと思ったほどです。

- ・医療従事者側にも患者のセクシュアリティに苦手意識があるというのは意外だった。
- ・当事者やパートナーが抱えるリアルな悩みや問題がわかった
- ・まず、投票で視聴者の構成をフィードバックしてくださったのは、非常によかったと感じました。患者さん自身も自分だけではないと実感できたのでは無いかと思いました。
- ・以前参加した PAP でのポスターセッションで、発表された女性の方を思い起こしました。言葉にしにくいことを正面から向き合っていただき感謝いたします。また、このような催しがあったこと、CNJ で今後公開されることを Facebook、twitter でシェアさせていただきしました。
- ・健全な場合でもセクシャリティの問題は難しいが、がんサバイバー、治療中となるとさらに難しいと改めて感じました。私は小児がん患者を主に診ていますが、治療中はまだ理解できないから話さない。(まだ小児なので)ただ、長期フォローアップでは年齢に応じて妊孕性の話もしなくてははいけない。でも、どう切り出していいか分からず悩む事も多いです。患者さん、サバイバーの方が少しでも話しやすくなる環境を作れるようにこれからも色々考えたいと思いました。
- ・個別性が高いことであり、病気による影響だけでなく、パーソナリティによることもあるから、とてもセンシティブな事と講演されている方皆さん気を遣っていらっしやったことに好感を持ちました。正解はないことですが、それぞれの答えを見つけられるようにできる場かもっと増えるよう願っています。
- ・通信状況が悪く聞き取れない部分がありました。
- ・もっと時間をかけて、ゆっくり行ってほしいです。貴重なお話をありがとうございました。
- ・知りたくても、なかなか聞けないことだったので良かったです。顔出ししなくて良いのも web ならではでした。
- ・具体的な話も聞いて良かった。でもなかなか支援は難しいなとは思った、気にかけていきたい
- ・今まで考えたことのなかった問題で非常に参考になりました
- ・どの方のお話もとてもわかりやすく、知りたい情報が盛り込まれていたのですが、佐藤さんが駆け足で話さなくてははいけない状況があまりにもかわいそうでした。時間がおしてたようですが、それこそオンラインでの開催ですし、そのあたりの時間配分はそのつどゆるめていってもいいのではないのでしょうか。せっかくご自身のご経験を話して下さっているのに、早口だとあまり伝わらないのではないかと思います。佐藤さんがイベントの犠牲者のように思えて、きいていて悲しくなりました。
- ・時間がもっとあれば、良かったと思いました。とても、せわしなかったです。なかなかオープンに話せない内容を取り上げてくださり、ありがとうございました。
- ・語りにくいテーマについて話す場があることが素晴らしいと思いました

- ・我が家も罹患後悩んだことでしたので、それをしっかりと取り上げてくださったことに感謝です
- ・AYA がんサバイバーのセクシュアリティに付いてのリアルな問題や悩みを聴けて勉強になりました。
- ・患者とセックスがタブーなく正しく語られることに安心した。もっともっと突っ込んで聞きたいことがあるので、もっと頻繁に行ってほしい。
- ・体験者の方のご講演があり、とても参考になりました。
- ・妊孕性に問題があるなら医師から患者に説明してくれると思っていたが、何の説明もなかった、との体験談に少なからずショックを受けました。患者や一般向けの教育も必要だと思いますが、医師にも必須の説明項目としてほしいです。
- ・とても貴重な機会をありがとうございました。もっと知識をつけて、普通に話し合える時代になると感じました。恥ずかしいことではなく、健康であれば誰にでも当てはまること。大切なことと改めて実感しました。
- ・オープンな雰囲気よかった
- ・知りたいけど情報が得られない多くの方の力になったと思います。このような発信がこれからも必要と思います。ありがとうございました。
- ・登壇者の御三方がとても視聴しやすいお話で参加して良かったです。
- ・夫婦で視聴できました。
- ・サバイバーの方の本音を聞くことができよかった。私は病棟勤務なので、なかなか治療後の患者さんと接することがないので、自分の関わりを振り返るよいきっかけになった。
- ・佐藤さんのお話が一番心に残りました。20歳での罹患時と20代後半での罹患時の心のありようの違いもお伺いすることができ、サポートを考えていく上でとても大切なことなのではないかと思いました。
- ・話しにくい内容を伝えて頂き、ありがとうございました。
- ・患者さんのお話を直接お伺いすることができ、とても貴重な機会になった。また、Q&Aセッションでは先生方が親身に丁寧に答えてくださっていて、勉強になった。
- ・大変意義のある時間だった 欲を言えば質疑応答を多めに取って、皆さんどのような悩みがあるのか、もっと共有できると良かった
- ・それぞれの立場の今の意見が聞けて、興味深かった。
- ・自分自身も話せる場がないなとは思っていたので、そう思っているのは一人ではないことがわかって良かったです。がんサバイバーとしても看護師としても他のがんサバイバーと一緒に考えられるようになりたいと思いました。
- ・血液腫瘍内科外来と化学療法室で働いているが、妊孕性についての介入に苦手意識があったので今回非常に勉強になりました。今後活かしていきます。
- ・初めてこのような内容の勉強会に参加しました。普段悩んでいてもなかなか口に出せな

い話題ですが、情報共有できる環境づくりをこれからもお願いしたいと感じました。

・あまり取り上げられてこなかった話題について、はっきりと言葉に出しながらわかりやすく単刀直入にお話していただき、とても感動しました。ありがとうございます。

・医療者からの話だけでなく、体験談も聞くことができ充実した内容でした。現状を吐き出せる場所がもっとあるといいですね。患者会などで知り合った方と患者会などではなく、2人で話をしているときに本音で話ができているように思います。パートナーもサバライバー仲間も信頼できる関係が構築できることが大切ですね。

・具体的なお話でとても学びになりました。

・治療期の性だけでなく、治療前後の性生活や生き方、周りとのコミュニケーションの難しさなど幅広くオープンで具体的なお話を聞くことができ、大変勉強になりました。ありがとうございます。

(6) 今後、がんと性(セクシュアリティ)について希望するイベントや情報などがあれば、教えてください。

・がんと妊孕性 がん治療後の生殖のそれぞれ

・新聞や雑誌なども活用して40代以上の世代に向けた啓発活動をしてほしい。

・特にありません。

・いろんなケースの話を聞きたい。

・夫婦関係、カップル関係のリアルな性生活や深刻なセックスレス、不倫問題など、解消・解決方法が知りたい。

・今回は泌尿器科医師の湯村先生がお答えくださいましたが、性のことなので、ぜひ泌尿器科医師だけでなく婦人科領域の医師にもご登壇頂きたいです。

・実際の不妊治療のことについて経験者からお話を聞いてみたいです

・今回のようなオンライン形式で、質疑応答部分を多く取って欲しい 性の話はオンライン開催と相性がいいと思ったことので

・患者間で交流が持てるイベントがあると良いと思います。参加に手を挙げた方同士なら深い話までできるのではないかと思います。

(7) その他、ご意見などあればお書きください。

・オンラインだと参加しやすく、機会を得やすいのでうれしいです。

・地元でもやっと卵子の保存ができるようになりました。医師は、自分の施設でできないことについては、なかなか情報をくれないので、患者さんが調べて訊ねる必要があります。がん治療の均てん化で、地方でも同じ治療はできても、サポート体制は、まだ格差があるように思います。今回のような相談もできるのだ、という情報が、どんどん広まって欲しいし、それに対応できる医療者が、各病院にいるようになっていくことを希望します。

- ・高校や大学など、教育の場でこうした問題を考える機会があるとよいと思う。
- ・大学院博士後期課程の学生です。女性生殖器がん罹患者の性生活支援をテーマにしています。情報提供のあり方などについて関心があります。実際に提供できる情報が少なく、現場の医療者も困っているのが現状だと感じています。今回は、貴重なご講演をありがとうございました。特に、サバイバーとして声を発してくださったご講演では、医療者との性に関する話題のコミュニケーションを具体的に語ってくださって、ありがとうございました。
- ・特にありません。
- ・とてもよい会でした。ありがとうございます。
- ・視聴できず申し訳ありませんでした。今後、今回のセミナーの視聴は可能でしょうか。
- ・妊よう性があること、パートナーがいることを前提に進んでいる感じがしました。難しいと思いますが、ナイーブで多様性がある領域なので配慮が欲しいです。
- ・主婦にとって忙しい時間帯なので、もっとあとが良い
- ・同世代の女性サバイバーの性へのお話を聞く機会はあったが、男性側の話の聞ける機会がなかったのでとても勉強になりました。もう少し全体的に時間をゆっくり設けて欲しかったです。
- ・渡辺先生の話の中に、欲しかったヒントをいただきました。
- ・貴重なお話をたくさん聞かせていただいてありがとうございました
- ・医療者は患者さんのために一生懸命考えていますが、どうしても医療目線で考えがちです。できるだけ多くの患者さんの声を聞いてサポートを考えるべきだと思います。
- ・当事者ではないので、頭で理解することしか出来ない。本当の苦しみを理解する事は難しいと思いました。もっともっと勉強が必要です。貴重なお話を聴かせていただき、ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。
- ・長年活動されている CNJ さんでも性の話の特化した情報提供（やセミナー）がほぼ初めてというのが、結構驚きでした。今回のセミナーのようなオンライン形式での開催がしっくりくるテーマですので、今後も継続的にオンラインでのセミナーを開催して欲しいです
- ・妊孕性について、医療者に面と向かって聞くのは聞きづらいと思います。特に AYA 世代の方々は。LINE やメールで相談できる等今の時代に合わせた方法を作るのも良いのかなと思いました。
- ・直接医療者と立ち会って相談することは緊張もあります。メールなどで相談できる窓口があったら良いと感じました。